



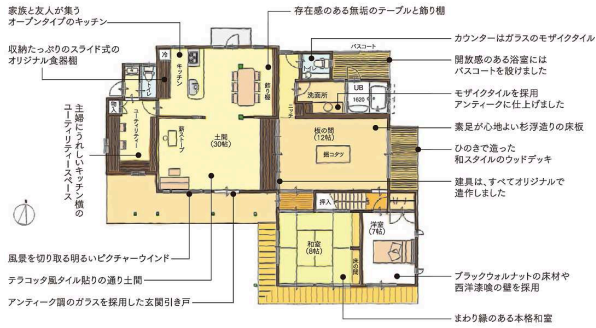
『風のショールーム』は、1階にインテリアや小物・照明器具類を展示、2階を「男の隠れ家」というコンセプトで、ホムランやオーディオを演出するスペースとしている。権内建築士を採用した壁は、多様なパターンで仕上げられているので、インテリアの参考にもなる。写真右が蔵の書斎。今後、蔵も広がる『風のくら』。見学はお気軽に



ポタニカルアートが似合いそうなナチュラルかつエレガントな寝室



客間や茶の間など兼数に使える和室は純和風の設え。丁寧な仕様が細部にも見て取れる



ここで結合した
精華+蔵!...

古民家スタジオ
『風のくら』
福岡県筑紫野市大字山口2122
連絡先
TEL 092-555-5530
HPサイト
www.kazekura.com

COMPANY DATA
株式会社 ハウスランド社
福岡県春日市天神山2-65
連絡先
TEL 092-555-5530
HPサイト
www.h-land.jp
詳しい情報は
00ページに掲載



パブリック空間でもある土間と茶の間や個室などのプライベート空間の間に内玄関を設けると、カフェやギャラリーのような雰囲気



開放的なバスコートの浴室



タイルを組み合わせたトイレや洗面所も【ハウスランド社】のオリジナル。家づくりの参考に



オープンに人と人をつなぐ
土間スタイルの暮らし

玄関だけでなくキッチンやダイニング、リビングまでがすべて土間。「風のくら」が提案するそんな土間スタイルの暮らしは、家の内と外とをゆるやかにつなぎ、人と人との距離を近くしてくれる。

たとえば、親しいご近所さんが訪ねてきた時、「靴を脱いで上がるのも面倒だから」と、玄関先で立ち話になることが多いでも、土間空間なら靴のままキッチンやダイニングへ。カフェ感覚でお茶をしながらゆつくりと話ができる。ホームパーティの楽しみも広がります。

土間と温気がこもる床も、タイルならその心配もなし。窓をペアガラスにして断熱材を入れたり、土間と相性のいい断熱材を置いて、床下と寒さ対策のアイデアも現代なら万全。夏は涼しく冬は暖かな土間スタイルの暮らしが叶えられる。

「リフォームに耐え得る古民家をお持ちの方は、ぜひ限られると思いが、こうした土間スタイルの家は新築でもリフォームでも取り入れることができます。どんな内装でも対応できますので、ぜひご相談ください。」そう話すのは「ハウスランド社」のスタッフたち。

確かに、「風のくら」には和風からプロヴァンス風、ヨーロッパアンティーク風など、様々な雰囲気の間があり、それぞれに造作家具も設えられている。設計からインテリアコーディネートまですべて女性スタッフが行なっているので、暮らしやすさ、使いやすさに徹したアドバイスももらえるのが頼もしい。最後に「ハウスランド社」の場合、手間請、下請とは無縁の専属の自社大工職による万全の施工体制をとっており、建築主には何より安心だ。